

心臓弁膜症…最近、疲れやすい、と感じていませんか？

○ こんな症状はありませんか？

- 最近、疲れやすい
- 階段を上ったときに動悸・息切れがする
- 顔や手足がむくむ
- 夜寝ると苦しい感じがする（上体を少しおこして寝ると楽）
- 胸がドキドキする（脈が乱れることがある）
- 胸に痛みがある
- 突然意識がなくなったことがある

チェックを
してみよう！

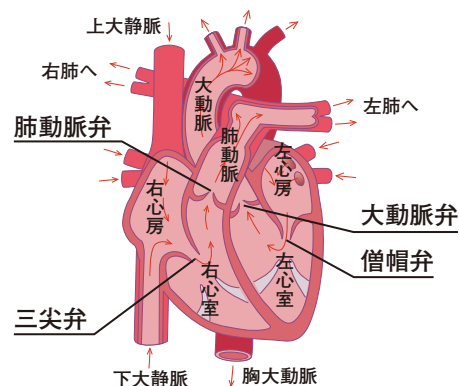
これらの症状がある場合には**心臓弁膜症**の疑いがあります。**かかりつけ医**に相談しましょう。

○ 心臓弁膜症が増加しています！

日本には心臓弁膜症の患者さんが200～300万人いると推定されており、その数は高齢化に伴って年々増加しています。しかし症状の進行がゆるやかなため、歳のせいだと思ひ込み、受診しない患者さんが多くいるといわれています。

○ 弁膜症ってどんな病気なの？

心臓には4つの部屋（右心房・右心室・左心房・左心室）と4つの扉（僧帽弁・大動脈弁・三尖弁・肺動脈弁）があります。扉（弁）は心室の入口と出口にあり、血液を一方向に流す役割を果たしています。これらの扉（弁）が正常に働かなくなった状態を弁膜症といいます。弁膜症には、**狭窄症**（弁が十分に開かなくなること）と、**閉鎖不全症**（弁が完全には閉じなくなり、



逆流が生じること)の2種類があります。最も多い弁膜症は「僧帽弁閉鎖不全症」と「大動脈弁狭窄症」で、最近では高齢の方の「大動脈弁狭窄症」が増加しています。

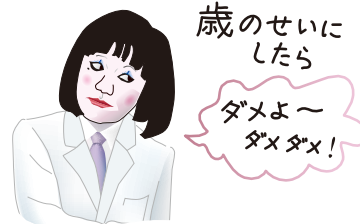
○ 弁膜症は進行性の病気です

心臓弁膜症は自然に治ることはありません。心臓の中の血液の流れが悪くなることにより心筋の障害が進行する前に治療をすることが非常に大切です。放置すると、突然死することもある怖い病気です。

○ どんな治療が必要ですか？

弁膜症の治療法には、お薬で症状を和らげたり、進行を抑えたりする治療法（薬物療法）と、手術で弁そのものを治す治療法（手術療法）があります。手術療法は通常、薬物療法では対応しきれないときに考慮されます。最近では、高齢の患者さんの体やさしい手術方法（経カテーテル治療）も考案され、日本でも行われるようになってきました。どの治療法を選択するかは、症状や年齢などを考慮し、患者さんと医師が十分話し合った上で決められます。

○ 心臓弁膜症を見逃さないためには？



心臓弁膜症は動悸・息切れや、疲れやすさなどの症状が徐々に進行するため自覚しにくく「歳のせい」だと思ひ込みがちです。聴診により**心雑音**でみつけることも多いので、**かかりつけ医**を持ち、定期的に健康診断を受けましょう。

○ profile



水元 亨先生

愛知県厚生農業協同組合連合会
安城更生病院
心臓血管外科 代表部長

愛知県厚生農業協同組合連合会
安城更生病院

安城市安城町東広畔28番地
TEL:0566-75-2111

URL: <http://www.kosei.anjo.aichi.jp/top/index.cfm>